

濁水かわら版

第 87 臨時号 19 年 8 月 1 日

ボケ防止を兼ねて 中安 宏規

時代の流れか 変化か ??

第 25 回(19 年)参院選挙

7/21 日 投開票

第 25 回参院選を記録に残しておく。時代が大きく変わる予兆を感じたからだ。

① 図A。選挙区の党派別当選数を地図上に示した。列島上に 1 人区 32 区(合区 2 区を含め)の勝ちを●自公と●野党系で示した。これを眺めながら 150 年前に江戸幕府を倒した戊申戦争のように思われた。奥羽列藩は薩長の官軍に抵抗したが敗れた。明治政府は言論弾圧と西に厚く、東北を軽く扱う政治を行った。

東北に奥羽列藩の意地？

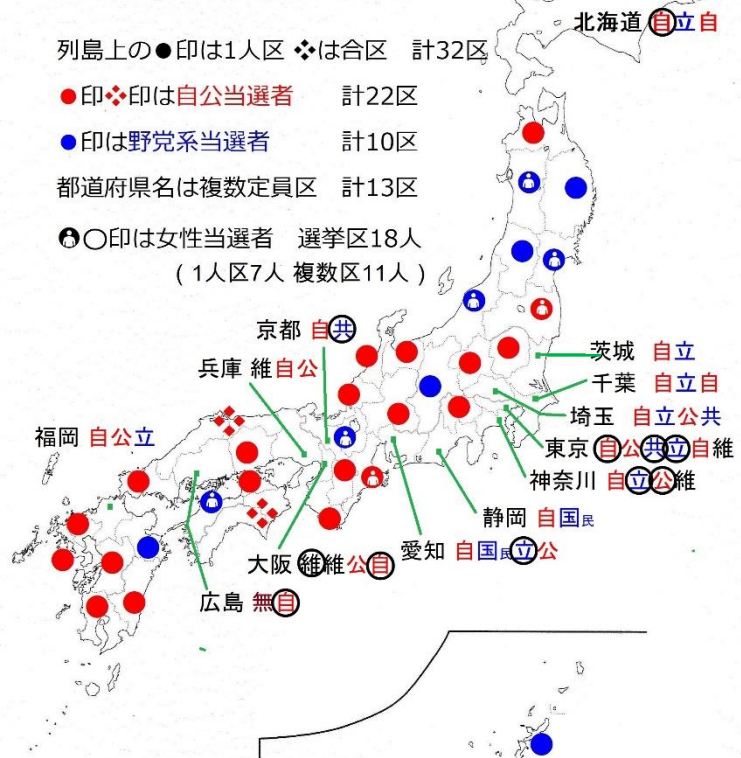
② ★新潟は、自現職の塚田氏→安倍総理・麻生副総理の地元道路建設促進に付度表明し、野党系の無所属・打越さく良氏に敗れた。★秋田は、防衛省が陸上イージス設置のごまかし資料を提出、自現職が落選した。★岩手は、自民へ鞍替えした現職に対し、野党推薦の元パラリンピック選手・横沢高德氏が接戦を制す。★宮城も立民新人石垣のりこ氏が自民現職に競り勝つ。★愛媛は加計問題の地。自民新人が、無所属の永江孝子氏に大敗。★沖縄は「寄り添わない政策」で大敗だ。

③ 今回自民は、上記の理由などで10議席失い、憲法改正の 2/3 の壁は残った。だが、第 2 次安倍政権から 7 年。17 年衆院選で民主党が分裂するなど、野党の方が壊れた。今回も西の壁は厚く、安倍政権を追い詰めることは出来なかった。

④ 図B。朝日新聞掲載の出口調査「無党派層の支持政党」の記事を借用、グラフを作成した。自民支持の 3 本柱は 10~30 歳台の若手。立民支持の 3 本柱は 50 歳台以上の高齢層。共産も同様の傾向。れいわは 30 歳~50 歳台。れいわは「日本初の本格的左派ポピュリズム」との識者声(毎日 23 日)あり。若手野党、高齢層の自民支持が逆転した。既存メディアやエリートへの反撃の烽火か、揺れる世界と共に注視したい。

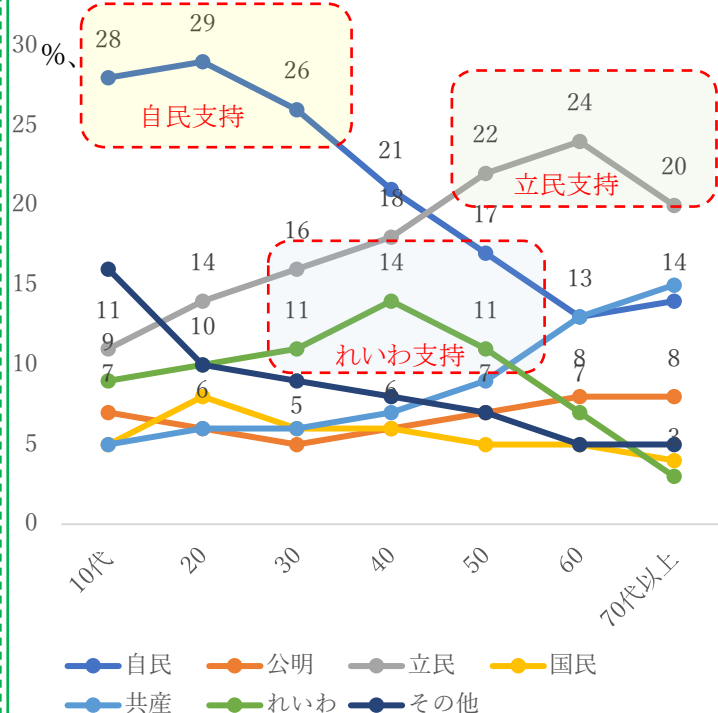
図A

選挙区の党派別当選数



図B

無党派層の年代別政党支持率



出典 7/22日 朝日新聞記事から作成

25 年ぶりの低投票率 54.70%→48.80%

⑤ 図C。投票率が 24 年ぶりに 50% を切った。前回 16 年に比べ全国平均で 5.9 ポイント減の 48.80%。朝日の記事は「戦後最低の 95 年の 44.52% に次ぐ 2 番目の低さ」と伝える。参議院は戦後の産物。戦前の選挙は衆議院のみだった。歴史認識を疑う。子細に見ると、高知のみ上昇し、残る 46 都道府県すべて減。高知は徳島と合区。相棒の徳島は 8.39 ポイント減の 38.59% で唯一 30% 台だ。おらが県の意識かもしれないが、25 日の新聞に「最近メディアの世論調査通りの結果になり、行ってもムダと投票率を下げている」の投稿が載っていた。

豪雨と投票所減

⑥ 図D。投票日の午前10時のアメダスの降水量。鳥取県の日本海側から九州・四国にかけ時間雨量が 10~30 ミリと強い雨。18 日頃から台風 5 号が九州に接近し、テレビは盛んに「身の安全を第一に避難」と呼びかけた。台風進路に面した福岡・佐賀・長崎・鹿児島 4 県の投票率は、前回 16 年から



10 ポイントも落ちた。豪雨は自然災害だが、投票所は人災で急激に減っている。

⑦ 図F・G。総務省の HP から引張りだした参院選の都道府県別投票所数だ。今回と 9 年前の 2010 年の第 22 回選挙と比較した。表向きは行政の効率化らしいが、車を運転できる人はともかく、過疎地の高齢者の票を奪う。期日前投票所がカバーしていると言われるも、役場や繁華街に多いのが現実だ。高齢者が過疎の集落からバスやタクシーで出かけるだろうか？ 図Fの大都市に比べ地方の減少が大きい。権力による投票権のはく奪は人災だ。1 票の格差なみの政治の怠慢だ。

図C 選挙区の投票率

選挙区	投票率	16年
北海道	▽53.75	56.78
青森	▽42.94	55.31
岩手	▽56.55	57.78
宮城	▽51.17	52.39
秋田	▽56.29	60.87
山形	▽60.74	62.22
福島	▽52.41	57.12
茨城	▽45.02	50.77
栃木	▽44.14	51.38
群馬	▽48.18	50.51
埼玉	▽46.49	51.94
千葉	▽45.28	52.02
東京	▽51.78	57.50
神奈川	▽48.73	55.46
新潟	▽55.31	59.77
富山	▽46.88	55.61
石川	▽47.00	56.88
福井	▽47.64	56.50
山梨	▽51.56	58.83
長野	▽54.29	62.86
岐阜	▽51.00	57.74
静岡	▽50.46	55.76
愛知	▽48.18	55.41
三重	▽51.69	59.75
滋賀	▽51.96	56.52
京都	▽46.42	51.16
大阪	▽48.63	52.23
兵庫	▽48.60	53.74
奈良	▽49.53	56.89
和歌山	▽50.42	55.29
鳥取	▽52.20	59.52
島根	▽49.98	56.28
岡山	▽54.04	62.20
広島	▽45.08	50.86
山口	▽44.67	49.58
徳島	▽47.32	53.35
高知	▽42.39	46.26
香川	▽38.59	46.98
愛媛	▽46.34	45.52
福岡	▽45.31	50.04
佐賀	▽52.39	56.36
長崎	▽42.85	52.85
熊本	▽45.25	56.69
大分	▽45.46	55.89
宮崎	▽47.23	51.46
鹿児島	▽50.54	58.38
沖縄	▽41.79	49.76
全国	▽48.80	54.70

▽は16年を下回る選挙区、▼は戦後最低。各選挙発表

図F 今回と10年の投票所数と減少割合
-3%より少ない

都道府県	2019年	2010年	減少割合
東京	1869	1872	0.2%
大阪	1776	1779	0.2%
神奈川	1660	1664	0.2%
沖縄	317	318	0.3%
静岡	1160	1169	0.8%
京都	995	1004	0.9%
埼玉	1761	1780	1.1%
三重	874	891	1.9%
千葉	1517	1548	2.0%
大分	606	621	2.4%
福岡	1180	1211	2.6%
高知	911	937	2.8%
山梨	522	537	2.8%
徳島	500	515	2.9%

図G 今回と10年の投票所数と減少数と割合
-10%より多い

都道府県	2019年	2010年	減少割合
秋田	807	1,001	19.4%
島根	642	788	18.5%
岐阜	746	910	18.0%
佐賀	313	367	14.7%
鳥取	363	424	14.4%
宮城	939	1,095	14.2%
石川	461	531	13.2%
栃木	830	956	13.2%
鹿児島	1,133	1,279	11.4%
熊本	966	1,084	10.9%
福島	1,249	1,396	10.5%
山形	789	881	10.4%
岩手	1,033	1,152	10.3%

「れいわ」と「N国」素顔と「社民」延命

87-

3 / 3

⑧ 図H. ★「れいわ新選組」(④参照)の山本氏は、国民民主党に参加せず新党を結成。東京では国民の得票の1.67倍の45万8千余票を獲得。特定枠当選の舩後靖彦・木村英子氏の2人は重度の障害者である。★N国(NHKから国民を守る党・代表立花孝志氏)は得票率2%に達し1議席を得た。次に29日、「北方領土で戦争を…」発言の丸山穂高衆院議員が入党。30日、旧みんなの党代表の渡辺喜美氏と会派「みんなの党」を結成。元NHK職員の立花氏は、旧みんなの党の選挙を手伝っていた(31日毎日新聞)。★社民は1議席を獲得、2議席になり政党維持が決まる。

⑨ 図I 当選した女性の党派別議席。

図I 第25回参院選 党派別女性議席

	1人区	複数	比例	計
自民	2	4	4	10
公明		1	1	2
維新		1		1
立憲	1	3	2	6
共産		2	1	3
国民			1	1
れいわ			1	1
無	4			4
計	7	11	10	28
改選議席124に対し				22.6%

図J 世界の女性議員ランキング

		%
1	ルアンダ	61.3
2	キューバ	53.2
3	ボリビア	53.1
4	メキシコ	48.2
5	スウェーデン	47.3
10	南アフリカ	42.1
13	スペイン	41.1
16	フランス	G7 39.7
30	イタリア	G7 35.7
39	イギリス	G7 32.0
47	ドイツ	G7 30.9
60	アフガニスタン	27.3
62	カナダ	G7 26.9
73	中国	24.6
78	アメリカ	G7 23.5
121	韓国	17.1
131	ロシア	15.8
165	日本	G7 10.2

図H 比例区 開票率99% 改選数50

●印 女性10人

自 民		19議席	立 憲	8議席	れいわ	2議席
17,545,050		35.39%	7,839,630	15.81%	2,243,878	4.53%
選三木 亨 ●現 選三浦 靖 ●新 選萩植 芳文 ●現 選山田 太郎 ●前 選和田 政宗 ●現 選佐藤 正久 ●現 選佐藤 信秋 ●現 選橋本 聖子 ●現 選山田 俊男 ●現 選有村 治子 ●現 選宮本 周司 ●現 選石田 昌宏 ●現 選北村 経夫 ●現 選山田 順子 ●新 選衛藤 晟一 ●現 選羽生 俊 ●現 選宮崎 雅夫 ●新 選山東 昭子 ●現 選赤池 誠章 ●現 比嘉奈津美 新 中田 宏 新 田中 昌史 新 木村 義雄 ●現 尾上 源幸 ●前 井上 義行 ●前 小川 真史 新 山本 左近 新 角田 充由 新 丸山 和也 ●現 糸川 正晃 新 熊田 篤嗣 新 水口 尚人 新 森本 勝也 新	598,673 529,032 284,721 234,713 231,957 223,294 217,249 204,827 201,937 189,171 176,609 158,538 153,609 151,522 137,329 131,477 130,941 113,443 111,361 99,585 91,996 91,536 87,347 84,688 77,545 75,117 57,197 35,873 29,759 24,275 23,355	岸 真紀子 ●新 選水岡 俊一 ●前 選小沢 雅仁 ●新 選吉川 沙織 ●現 選森屋 隆平 ●新 選川田 龍平 ●現 選石川 大我 ●新 選須藤 元気 ●新 市井紗耶香 新 若林 智子 新 奥村 政佳 新 おしどりマコ 新 藤田 幸久 ●現 齊藤 里恵 新 佐藤 香 新 中村 起子 新 今泉 真緒 新 小侯 一平 新 白沢 みき 新 真野 哲 新 塩見 俊次 新 深貝 亨 新	157,517 148,164 144,079 142,535 103,617 92,971 72,326 72,309 72,309 49,885 31,438 31,430 28,750 28,679 22,634 19,910 13,350 11,826 9,946 9,310 8,962 5,089 4,509	選舩後 靖彦 ●新 選木村 英子 ●新 山本 太郎 ●現 蓮池 透 新 大西 恒樹 新 安富 歩 新 渡辺 照子 新 辻村 千尋 新 三井 義文 新	976,192 20,255 19,588 8,448 4,963 4,023 3,858	
政党名での得票		1,206,549				
公 明		7議席	共 産	4議席	社 民	1議席
6,478,748		13.07%	4,423,003	8.92%	1,037,904	2.09%
選山本 香苗 ●現 選山本 博司 ●現 選若松 謙維 ●現 選河野 義博 ●現 選新妻 秀規 ●現 選平木 大作 ●現 選塩田 博昭 ●新 高橋 次郎 新 奈良 直記 新 西田 義光 新 藤井 伸城 新 竹島 正人 新 角田健一郎 新 坂本 道広 新 村中 克也 新 塩崎 剛 新 国分 隆作 新	593,671 471,139 341,642 328,501 281,635 183,522 14,979 7,552 5,361 3,966 3,230 3,081 2,912 2,425 2,147 1,983 1,601	山小 晃 ●現 選山下 芳生 ●現 選井上 哲士 ●現 選紙 智子 ●現 仁比 聡平 ●現 山本 訓子 新 椎葉 寿幸 新 梅村早江子 新 山本千代子 新 松山 由美 新 佐藤ひろ 新 原 純子 新 藤本 友里 新 伊藤理智子 新 有坂ひろ 新 田辺 健一 新 青山 了介 新 松崎 真琴 新 大野 聖美 新 島袋 恵祐 新 伊藤 達也 新 小久保剛志 新 下奥 奈歩 新 沼上 徳光 新 住寄 聡美 新 鎌野 祥二 新	154,635 48,669 42,831 34,556 33,306 32,646 16,701 15,283 7,533 5,335 4,157 3,636 3,403 3,054 2,756 2,660 2,584 2,570 2,160 2,148 2,135 1,191 929 645 576 419	選立花 孝志 ●新 浜田 聡 新 岡本 介伸 新 熊丸 英治 新	128,605 9,260 4,239 2,831	
政党名での得票		830,215				
安 楽 死		0議席	幸 福	0議席	オリーブ	0議席
263,942		0.53%	200,701	0.40%	166,077	0.33%
佐野 秀光 新		35,214	釈 量子 新 及川 幸久 新 松島 弘典 新	30,186 8,201 4,651	黒川 敦彦 新 若林 亜紀 新 小川 学 新	12,099 9,949 4,432
政党名での得票		135,370				
労働者		0議席	国 民	3議席	労働者	0議席
79,425		0.16%	3,458,631	6.98%	79,425	0.16%
選鈴木 宗男 ●新 選室井 邦彦 ●現 選梅村 聡 ●現 選柴田 巧 ●前 選柳ヶ瀬裕文 ●新 藤巻 健史 ●現 山口 和之 ●現 串田 久子 新 桑原久美子 新 奥田 真理 新 森口あゆみ 新 空本 誠喜 新 荒木 大樹 新 岩淵美智子 新	218,898 86,810 58,188 53,804 51,028 50,367 41,903 32,130 20,591 20,373 19,227 12,730 8,477 8,070	選田村 麻美 ●新 選崎崎 哲史 ●現 選浜野 喜史 ●現 石上 俊雄 ●現 田中 久弥 新 大島九州男 ●現 山下 容子 新 円 より子 ●元 姫井由美子 ●元 小山田経子 新 鈴木 覚 新 酒井 亮介 新 中沢 健 新 藤川 武人 新	258,857 258,186 255,882 191,703 143,252 86,698 35,741 24,311 20,858 8,214 5,870 4,354 4,027 2,445	林 紘義 新 吉村二三男 新 菊池 里志 新 伊藤 恵子 新	17,899 2,786 1,342	
政党名での得票		57,397				
政党名での得票		2,158,231				
政党名での得票		135,370				
政党名での得票		57,397				
政党名での得票		135,370				

図J 世界の女性議員ランキング

2019/3/05 日、「列国議会同盟」(本部ジュネーブ)の発表資料である。共同電は「2018年の各国議会の女性進出に関する報告書」で世界193か国の下院(日本は衆議院/17年選挙)の議席。

日本は165位と伝えた。東京新聞はG7の中で外に100位台はなく最下位。G20でも最下位だと。今回参院選の22.6%もアメリカに及ばない。全体順位を手に入できなかったが、日本はまるで明治維新のままだ。